

**JASDAQ**

証券コード  
2449

# 平成24年8月期 第2四半期決算説明会



PRAP JAPAN, Inc.

平成24年4月24日

株式会社プラップ ジャパン

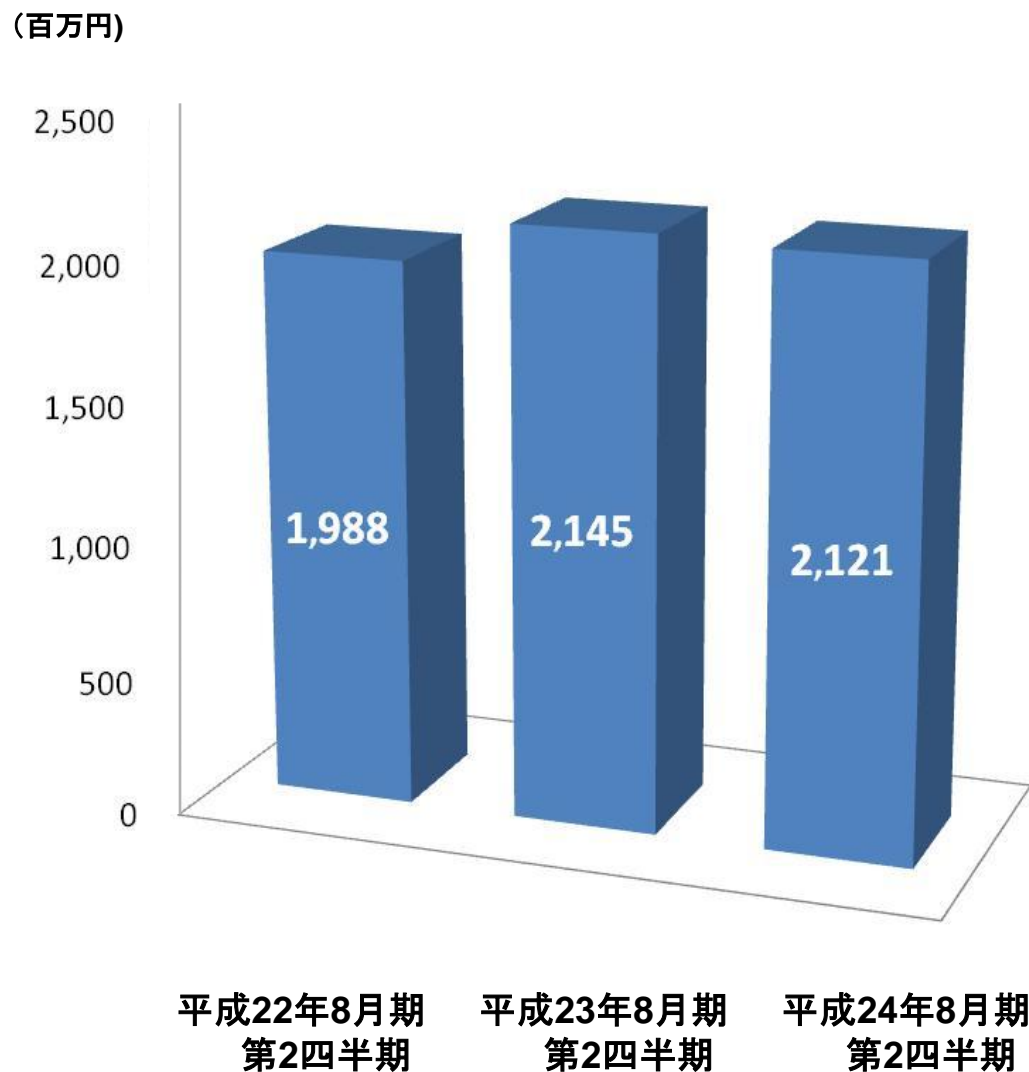
# 平成24年8月期 第2四半期 連結業績の概況

(単位:百万円)

	平成22年8月期 第2四半期 実績	平成23年8月期 第2四半期 実績	平成24年8月期 第2四半期 実績	前期比	予想比
売上高	1,988	2,145	2,121	▲1.1%	+17.1%
営業利益	240	259	183	▲29.5%	+45.9%
経常利益	226	264	186	▲29.6%	+53.7%
四半期 純利益	121	113	73	▲35.4%	+127.0%

※予想比は平成23年10月14日発表の「平成24年8月期 第2四半期連結累計期間 業績予想」との差異

# 売上高の推移

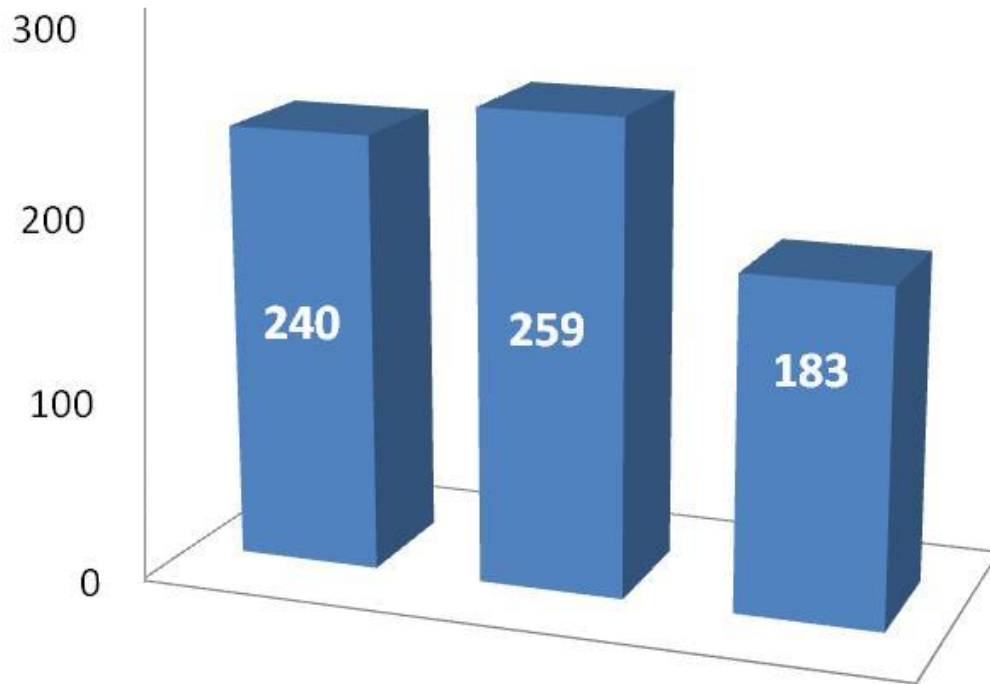


## 概略

- コンプライアンス意識の高まりによるクライシスマネジメント関連のプロジェクトが増加傾向
- ネット関連メディアの多様化に伴う、デジタルインフラを活用したPRおよび広報施策のニーズ拡大
- 欧州経済の先行き不安、タイにおける洪水の影響

# 営業利益の推移

(百万円)



平成22年8月期  
第2四半期

平成23年8月期  
第2四半期

平成24年8月期  
第2四半期

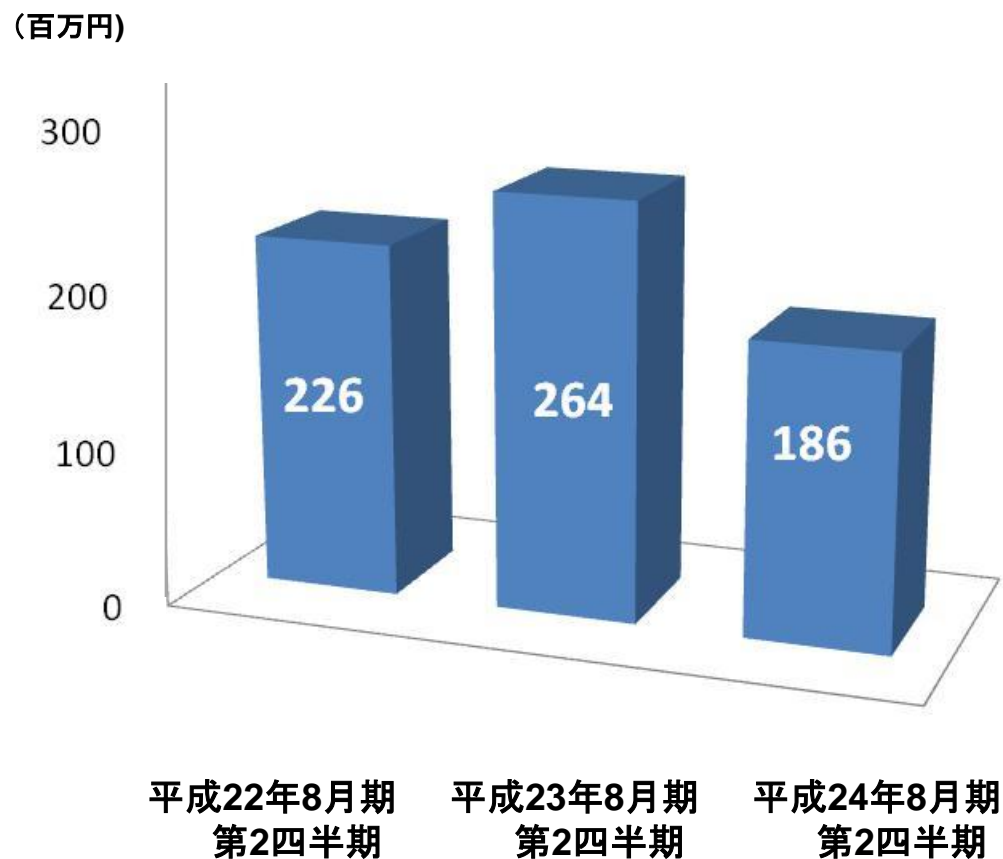
## 減少要因

- 子会社におけるプロジェクト業務の減少
- 本社移転に伴う販管費の増加

# 経常利益の推移

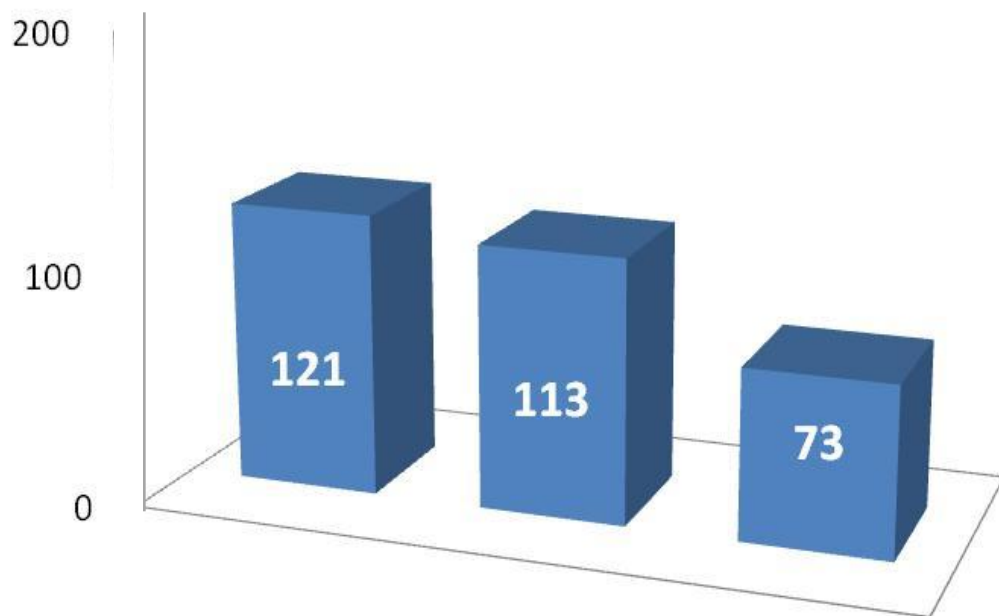
## 減少要因

- 営業利益の減益に伴うもの



# 四半期純利益の推移

(百万円)



平成22年8月期  
第2四半期

平成23年8月期  
第2四半期

平成24年8月期  
第2四半期

## 減少要因

- 事務所移転に伴う費用の一部を特別損失として計上

# 平成24年8月期 第2四半期 連結売上の概況

(単位:百万円)

	平成22年8月期 第2四半期 実績	平成23年8月期 第2四半期 実績	平成24年8月期 第2四半期 実績	前期比
コミュニケーション サービス部門	1,812	2,036	1,982	▲2.6%
クリエイティブ サービス部門	175	108	138	+26.9%
合計	1,988	2,145	2,121	▲1.1%

# 部門別業績の概況

## コミュニケーションサービス部門(CS)

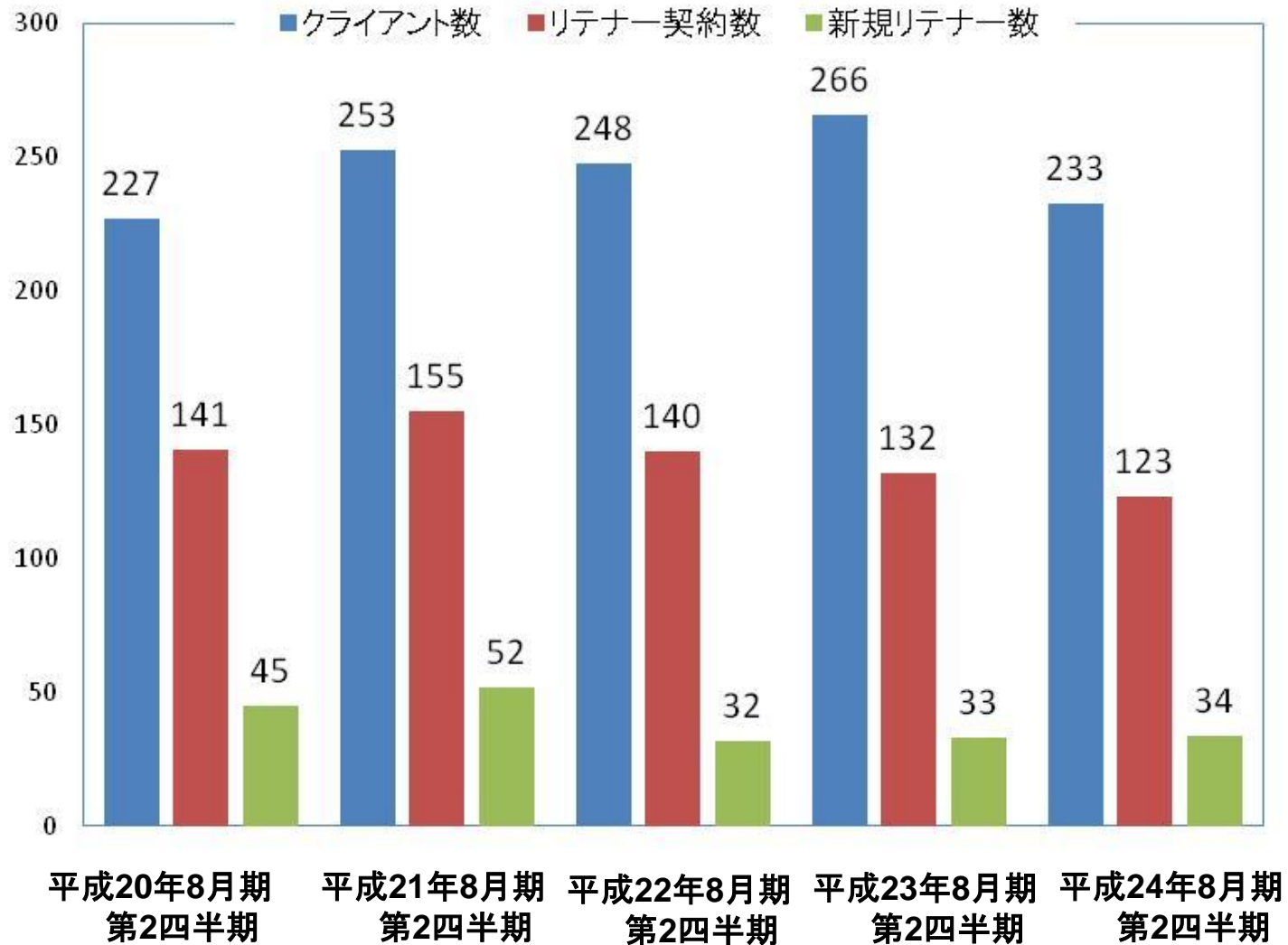
- 業務引き合いの問合せは増加傾向
- 新規リテナークライアントとして鉄道、商業施設、IT関連、動物医療、アパレル、NPO法人など多岐にわたる企業を獲得
- デジタルインフラを活用したPRおよび広報施策の引き合い
- 中国子会社で、中国ミニブログサービス「新浪微博(シナ・ウェイボー)」での運営支援サービスの受注に伸び

## クリエイティブサービス部門(CR)

- イベント業務は、製薬、飲料、食品メーカーなどの一般消費者をPRターゲットとするイベント活動の受注
- 制作業務ではヘルスケア関連会社、コンサルティング会社、公営事業関連、鉄道会社の刊行物を受注



# 営業活動の概況



# 平成24年8月期 下期戦略

既存顧客への営業深耕および新規先への開拓の強化

デジタルマーケットニーズの汲み取り強化

危機管理分野の強化・拡充

サービスクオリティ向上に向けた教育体制の強化

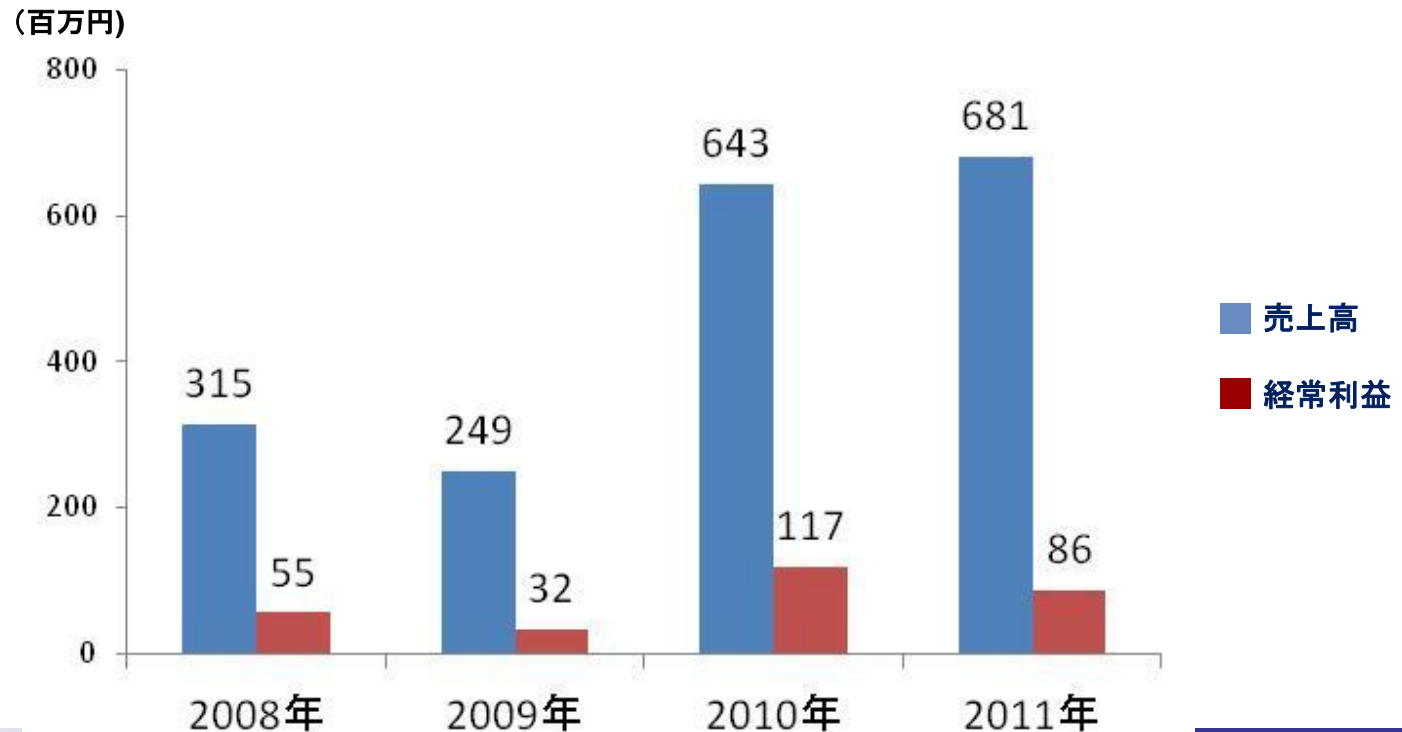
M&Aおよび業務提携契約の推進

中国ビジネスの拡充

# 中国事業の業績推移

(単位:百万円)

	2008年	2009年	2010年	2011年
売上高	315	249	643	681
経常利益	55	32	117	86



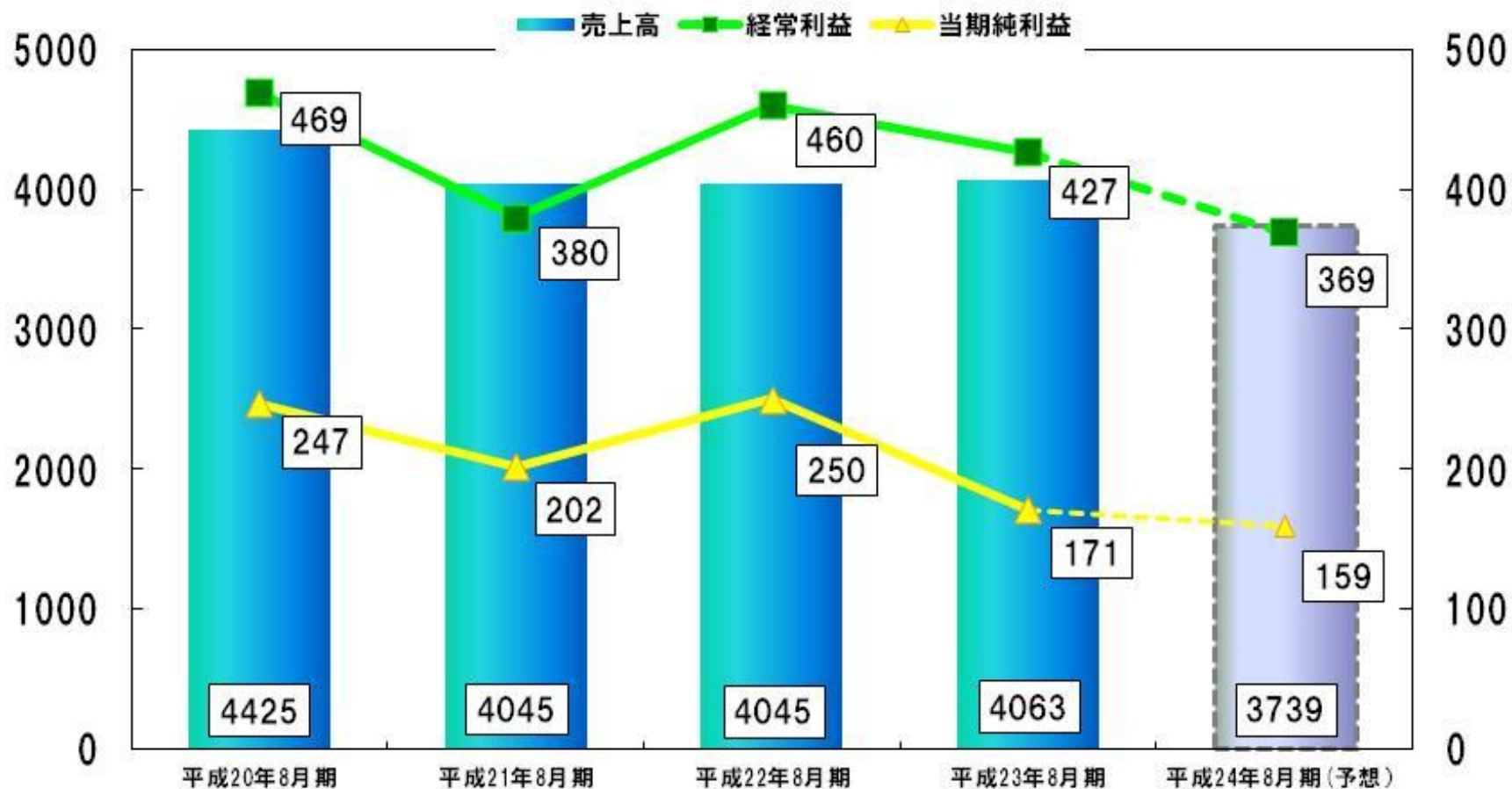
# 平成24年8月期 連結業績の見通し

(単位:百万円)

	平成23年8月期	平成24年8月期 (予想)	対前年比 増減率
売上高	4,063	3,739	▲8.0%
営業利益	422	375	▲11.2%
経常利益	427	369	▲13.6%
四半期 純利益	171	159	▲7.2%

# 【参考】業績推移

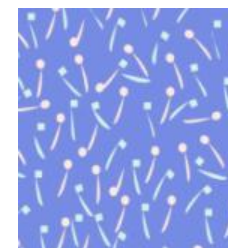
## 業績推移グラフ



# プラップジャパンの概要

# 会社概要

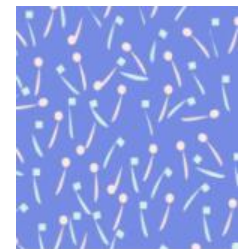
- 創 立 1970年
- 資 本 金 4億7千万円
- 代 表 者 代表取締役社長 杉田 敏
- 本 社 東京都港区赤坂1丁目
- 連結売上高 40億6,300万円(平成23年8月期)
- 連結従業員数 251名(平成24年2月末現在)



PRAP JAPAN, Inc.

# 会社概要

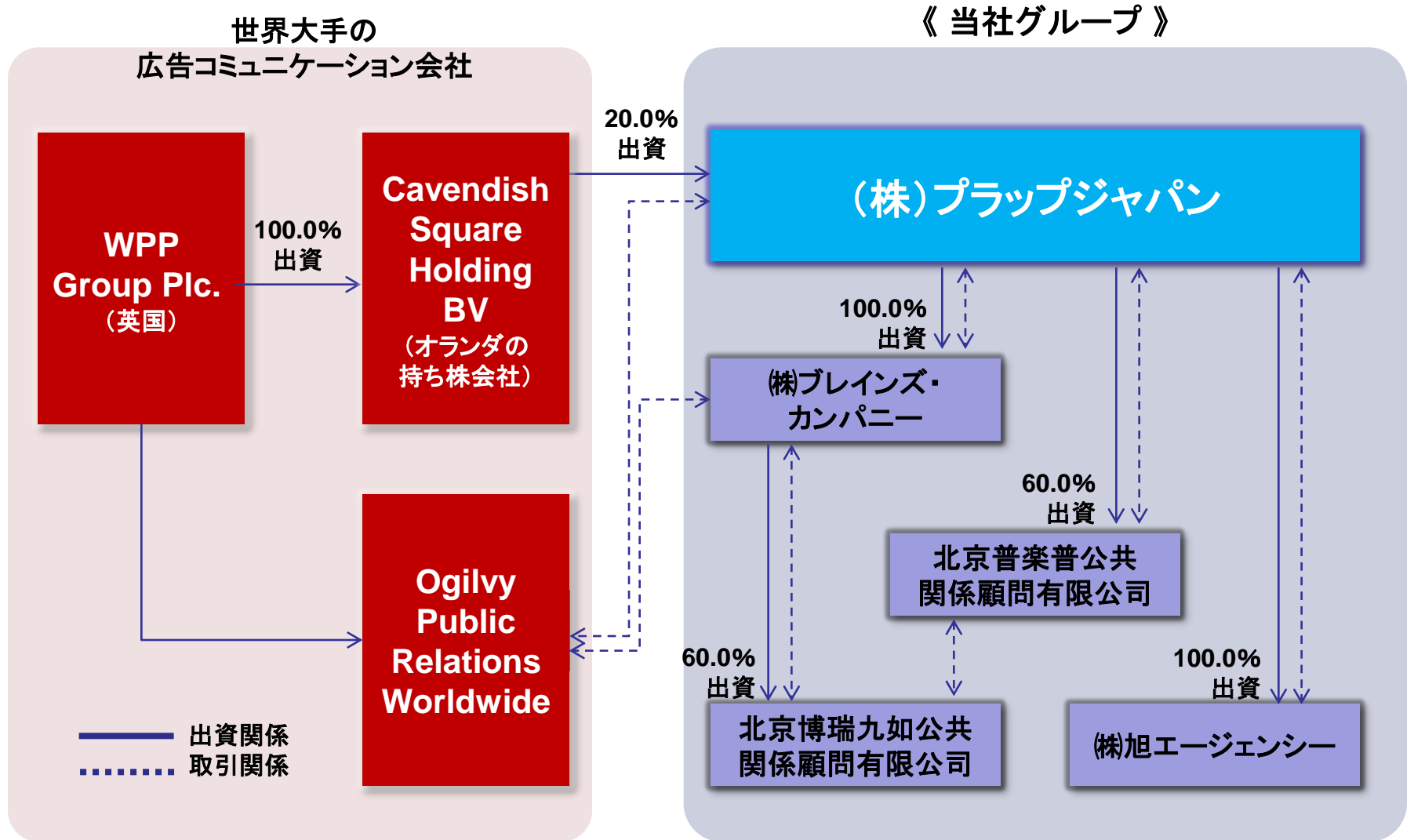
- 連結子会社
  - 普楽普公共関係顧問有限公司〈プラップチャイナ〉
  - 株式会社ブレインズ・カンパニー
  - 株式会社旭エージェンシー
  - 北京博瑞九如公共関係顧問有限公司〈ブレインズチャイナ〉
- 資本・業務提携(海外ネットワーク)
  - Ogilvy Public Relations Worldwide
- 2005年7月にJASDAQに上場



PRAP JAPAN, Inc.



# WPP Group Plc.との関係



# プラップジャパンのサービスメニュー

マーケティングPR	多様なコミュニケーション手法を駆使して、製品・サービスの認知度を向上。販売促進につなげ、企業のマーケティング活動をサポート
コーポレートPR	マスメディアなどを通じて、経営トップの意思、企業戦略をステークホルダーに訴求。企業価値を高め、競合優位性を確保
企業IRサポート	上場企業とステークホルダーとの関係づくりを支援。市場からの適切な企業評価につなげる。株式公開時および公開後のIR・PR活動
M&A支援	社内外のコミュニケーションを円滑化し、重要な企業戦略のひとつになりつつあるM&Aを成功に導く
メディアトレーニング	1対1のインタビューから謝罪会見まで、他社にない実践的な内容でメディア対応を指導
危機管理	平常時には、危機管理体制の確立およびマニュアルの整備、報道対応の整備等を行い、発生後は発表の準備、情報収集などを行う
官庁・自治体PR	官庁・自治体のPRに加え、地元理解促進活動の支援・助言・コンサルティングを行い、市民との友好関係確立につなげます

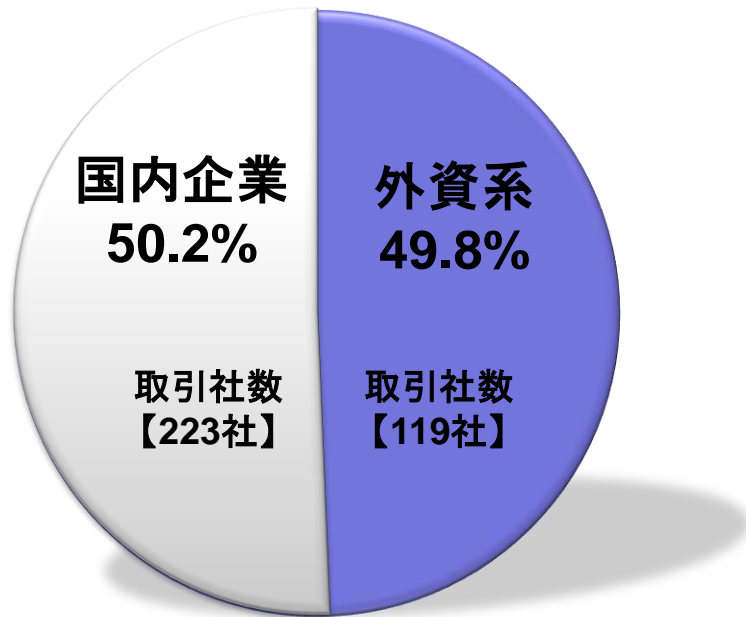
# 成長を支える高収益構造

- 経営戦略の一環としてコミュニケーションを重視する外資系企業の売上比率が半数を占める

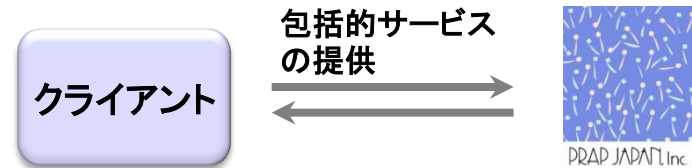
- 直接取引がもたらす高い利益率。取引の約90%は代理店を経由しない直接契約

## 売上高比率

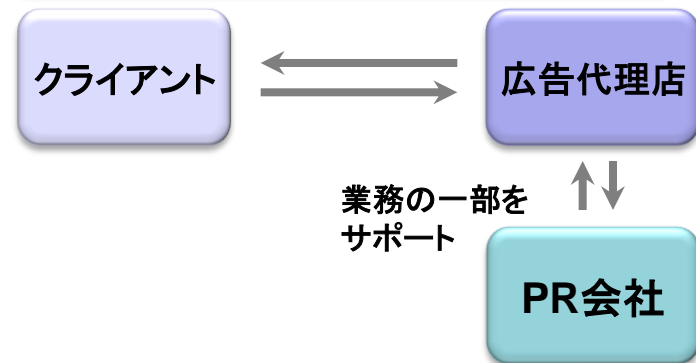
(平成23年8月期)



## 直接契約



## 代理店経由



## 本資料お取扱い上のご注意

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の予想・予測などは、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあります。ご承知おきください。

お問い合わせ

株式会社プラップジャパン 広報・IR室

TEL:03-4580-9125 E-mail:ir\_info@ml.prap.co.jp